

## 2021年度のホスピス聖霊講演会を開催しました！

01

例年2月に一般の方々を対象にホスピス聖霊講演会を開催してまいりましたが、コロナ禍のため2年間中止を余儀なくされる状況となり、2021年度はWEBライブ配信をいたしました。講師には愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院 緩和ケア内科医師 大橋 洋平氏を迎え、「がんを気い楽に生きる」をテーマに講演を賜りました。自らががんを患い治療を受けながらも診療に携わっておられる現役体験記と、苦闘の日々から生み出された今を生きるための「気い楽に生きる」術を語っていただきました。現在、ネットを通じてご自身のことを「足し算命(たしざんいのち)」として気ままにつづられています。また心の免疫力を上げる言葉の数々「もっと気楽に、自由に、しぶとく」等を『緩和ケア医 がんと生きる40の言葉』に執筆しております。この講演は6月末まで聖霊病院ホームページより配信中です。是非、ご視聴ください。



動画視聴用QRコード

ホスピス病棟責任者 伊藤 靖彦

## 新副院長、新事務部長より就任のご挨拶

02

4月から副院長兼看護部長を拝命しました古城と申します。今までは、地域医療連携に従事して参りましたが、これからは地域医療連携も継続しつつ新たな役を務めて参りたいと思います。このような大役で身の引き締まる思いですが、皆様のご協力のもと精進して参りたいと思います。また、変化の著しい今の社会において、自らの意志をしっかり持って自律し、環境の変化に柔軟に対応できる「適応力」を身につけ、判断・行動できる人材を育成していきたいと考えています。どうぞ、宜しくお願い致します。



副院長兼看護部長  
地域医療連携センター長  
古城 敦子

4月1日より事務部長になりました織田と申します。聖霊会には、令和2年4月から採用され聖霊病院の総務人事の仕事をしておりましたが、その後、関連施設である老人保健施設に3月迄勤務させて頂きました。この度、聖霊病院でまた仕事をすることになりましたが、目まぐるしく変化していく社会動向やそれに伴う医療環境に適応していくために生じる様々な問題に対応していく為には、関係者の方々には、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、何卒ご理解・ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。



事務部長 織田 浩司

## 新任医師紹介

03

令和4年4月に3人の常勤医師を迎えました。力を合わせ、地域医療に貢献していきます。

### 内科

小崎 哲資

専門領域:循環器内科

### 小児科

社本 穂俊

専門領域:小児科一般

### 産婦人科

小林 知子

産婦人科医長

専門領域:周産期領域、産婦人科全般



## 外科(消化器)診療停止について

04

当院では、都合により7月1日より外科(消化器)の診療を停止いたします。乳腺外科外来(菊森医師)、心臓外科外来(田嶋副院長)は継続いたします。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

院長 春原 晶代

### ★看護師・看護補助募集中★

今まで培ったキャリアを当院で活かしませんか? 優しさと思いやりを大切に患者さん一人ひとりに寄り添う看護・診療を一緒に行いましょう! まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先  
人事課 水野・山本(代表052-832-1181)



お問い合わせ先  
QRコード



撮影場所:岐阜県可児市 ぎふワールド・ローズガーデン 写真提供:用度課課長 幾田和男



院長  
メッセージ  
Massage of the hospital superintendent  
病院長  
春原 晶代

## 新年度のご挨拶

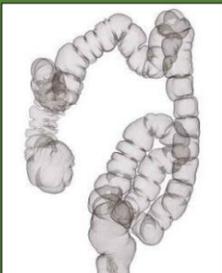
4月に37名の新入職員を迎え、新年度が始まりしました。初々しい彼らの姿を見ると、私自身もまた。新たな気持ちで病院運営に取り組んでいこうと思います。今年度は6月末で消化器外科の診療を停止するなど、病院機能にも変化がみられますが、聖霊病院の基本理念は変わりません。「愛と奉仕」の理念のもと、地域の方々へ患者さん中心の思いやりのある医療を提供していきます。今回の紙面では、当院の診療科のなかで常勤医師が在籍し、入院診療を行うことができる9診療科の診療内容をお知らせします。

### HOT NEWS

## 予防医療センター(新設)からのお知らせ 「治す」より「防ぐ」

本来、疾患は治療するものというより予防すべきものです。当院ではこの観点から検診を行ってまいりましたが、より積極的に地域の住民の皆様の健康を守るために検診業務を充実させるべく、4月より従来の検診科を発展させて予防医療センターを設立いたしました。

これまでも特定健康診査(特定健診)・後期高齢健康診査・名古屋市委託検診(ワンコイン=500円ががん検診及び無料骨粗しょう症検診)・人間ドック・脳ドックなどを行ってまいりましたが、さらに本年より消化器がん遺伝子検査(マイクロアレイ)を導入しました(自費)。これは5mlの採血で胃癌、大腸癌、膵臓癌、胆道癌について癌の存在を90%以上の高確率で検出するものです。またしばらく中断しておりました大腸ドック(CT)も再開しました。CTを撮るだけでまるで内視鏡で覗いたかのように3D画像が得られ、同時に大腸以外の肝臓・膵臓・腎臓などの腹部臓器も観察できます。



予防医療センター長 田嶋 一喜

お問い合わせ先 代表(052)832-1181 内線3127(健診科)

聖霊病院は、病床数が198床であり、紹介状がなくても受診しやすい病院です。各診療科の診療内容を紹介しますので、受診や紹介などの参考にしてください。

## 内科

高齢化社会を反映し、ご高齢の患者さんが増加しております。高齢者では複数の疾患をお持ちの方が多く、それに伴い服用されている薬剤の数も多くなります。従って、専門領域のみを診ていたのでは、患者さんの状態をよりよく保つことは難しく、専門性を持ちながら広い視野に立って全身を拝見できる医師が必要となってきます。当院内科では、医師がそれぞれの専門分野での研鑽を積むと同時に、専門以外の領域にも目を向け、必要があれば他科と連携するなど、全身を意識して診療にあたっております。お気軽にご相談ください。

内科診療科部長 石原 政光

## 小児科

小児科では一般小児診療の他、新生児集中治療室(NICU)を有しており、院内出生の児のみならず院外からも新生児搬送での入院対応を行っています。外来ではアレルギー疾患、心臓疾患、てんかんなどの神経疾患、低身長や思春期早発症などの内分泌疾患に対応する専門外来があり、各疾患とも地域のクリニックと連携し専門性の高い診療を行っています。また、発達が心配なお子さんなどを対象に臨床心理士によるWISC等の発達検査を行っており、当院受診中ではないお子さんでも地域医療連携センターを介した病診連携予約にて発達検査を承っております。

小児科診療科部長 今峰 浩貴

## 産婦人科

聖霊病院は昭和20年開業以来、カトリック精神に基づいた『愛と奉仕』の理念のもと、特に「人間愛の尊重」と「生命の尊厳」をモットーに診療しており、妊娠、出産、産後の時期を安心して過ごしていただくために、いろいろな企画を考え、皆様に安全で、質の高い医療を提供するために日夜研鑽しております。平成26年より地域周産期母子医療センターに認定されています。又、婦人科として筋腫等の腹腔鏡下手術も行ないます。

産婦人科診療科部長 千原 啓

## 整形外科

私が本年1月より赴任し、これまで大腿骨近位部骨折を主とする外傷、骨粗鬆症、小児整形、人工関節(股、膝)を診療の柱としてきた当科に脊椎診療が加わりました。当科の大腿骨近位部骨折に対する手術加療は極力低侵襲に努めることで術後早期の積極的なりハビリ介入が可能となり、受傷にて低下した機能の回復を目指しております。脊椎に関しても可能な限り低侵襲な加療を行なうように努めておりますので、新たな柱を加えた整形外科は、これからもより一層皆様の力となれるよう頑張っていきます。

整形外科診療科部長 鞆飼 淳一



■ 外来診察室



■ NICU



■ エコー検査



■ 骨粗鬆症外来の様子

## 皮膚科

皮膚疾患全般にわたる外来診療・入院診療を行っています。入院での主な治療は手術療法(良性腫瘍、悪性腫瘍)、陰圧閉鎖療法(褥瘡などの潰瘍に対して)などです。外来では、アトピー性皮膚炎に対する新規治療法(デュピルマブなど)、紫外線治療、冷凍凝固療法、爪処置、鶏眼処置なども行っています。在宅医療を受けられている方には往診も行っています(連携医師からの紹介が必要です。詳細は地域医療連携センターへ)。皮膚に気になる症状がある方は、お気軽に受診してください。

院長 皮膚科診療科部長 春原 晶代



■ 医療用紫外線照射装置

## 泌尿器科

当科では泌尿器科疾患全般の診療を行っております。外来では前立腺肥大症、過活動膀胱、尿路結石症、急性膀胱炎、前立腺癌の患者さんが多く、入院では高齢者の尿路感染症、排尿障害、悪性腫瘍が多いです。内視鏡検査、尿路造影検査、各種尿路カテーテルの管理、前立腺生検などが施行可能です。手術が必要な場合は近隣の総合病院に紹介させていただきます。地域との連携を大切にしながら親切で丁寧な診療を心がけています。

医務局長 泌尿器科診療科部長 伊藤 靖彦



■ 内視鏡統合ビデオシステム

## 眼科

目が赤くなる、瞼が腫れる、かゆい、ぼやけるなど眼の症状全般の診療を行っています。年齢と共に生じる白内障についても、当院では入院での手術治療を施行していますので、持病があったり、ご家族が遠方にお住まいであったり、日帰りでの白内障手術に不安のある患者様に安心して手術を受けていただけます。他の科で通院されていれば連携しながら眼科の治療が可能です。また、小児の眼科外来を月曜、金曜午後に行っています。

眼科医長 林 真理子

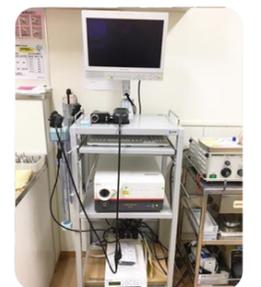


■ 視力測定器

## 耳鼻咽喉科

新生児聴覚スクリーニング後の精密検査(ABR)も行います。補聴器外来も予約制で行っています。スギとダニの舌下免疫療法も継続しています。鼓膜穿孔閉鎖・チュービング・鼻粘膜焼灼・鼻骨骨折整復・扁桃腺摘出・アデノイド切除・リンパ節生検なども行っています。耳・鼻・のど・めまいなど、ご心配の時は、気軽に受診できますのでご利用ください。

耳鼻咽喉科診療科部長 今村 はつ江



■ ビデオ鼻咽喉スコープ

## 歯科口腔外科

主に親知らず・保存不可能の歯の抜歯、歯根嚢胞などの小手術を専門にしています。当科では静脈内鎮静法(麻酔薬剤を腕の血管から静脈注射すること)を用いた1泊2日での小手術を年間600件以上行っております。ほとんどの患者様が「治療中のことはほとんどおぼえていない」とお答えになります。全身麻酔と異なり治療後2時間もすれば飲食も可能です。より快適な口腔外科治療を行えるよう努力してまいります。

歯科口腔外科診療科部長 浅井 英明



■ 外来診療の様子